

科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査) の実施概要及び調査結果の活用状況

NISTEP定点調査(第4期)は、第6期科学技術・イノベーション基本計画期間中の2021～2025年度の5年間にわたって実施します。

第一線で活躍する研究者や有識者の意識を集約する本調査の結果は、我が国の科学技術やイノベーション創出の状況やその変化を定性的に把握し、現場の声を政策検討につなげていく上で、貴重かつ独自性のあるデータです。

第6期基本計画期間中の第4回の調査となるNISTEP定点調査2024に、ご協力をお願いいたします。



| 第6期科学技術・イノベーション基本計画期間 | | | | |
|-----------------------|------|------|------|------|
| 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
| 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 |

今回は第4回の調査です。第3回までにご回答いただいた方も未回答の方も、ご回答をお願いいたします。

NISTEP定点調査2023の実施概要

回答率

88.3%

という高い回答率でした。
(2022年度調査は94.1%)
(2021年度調査は92.1%)

自由記述回答

約50万字

もの現場の声が寄せられ、
それらが検索可能なデータを
公開しました。

報告書の公開

2冊

の報告書を2024年5月に公
表しました。

貴重な時間を割いて調査にご協力くださった回答者のみなさまに深く感謝申し上げます。

NISTEP定点調査の活用状況

行政への情報提供

内閣府及び文部科学省
内の関係部局に、調査結
果をまとめた報告書を配
布するとともに、説明を行
うことで、行政に現場
の声を届けました。

審議会等での活用

NISTEP定点調査の結果
は、各種審議会等
で報告を行い、資
料としても活用され
ています。
裏面に最近の活用例を示
しています。

メディアでの報道

2022～24年度(8月23日時
点まで)の間に、
メディアで計25回
報道されました。
(第4期の事務局把握分)
日本経済新聞、毎日新聞、
読売新聞などの主要メ
ディアに掲載されました。

NISTEP定点調査報告書及びデータ集は以下のURLから御覧ください。

<https://www.nistep.go.jp/teiten-s>

NISTEP定点調査の結果は、審議会等で報告がなされ、資料等にも活用されています。
皆様から頂いたご回答・ご意見は、未来の政策検討につながっています！

□内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 **有識者議員懇談会**

◆ 内閣府CSTI有識者議員懇談会 令和4年8月18日（木曜日）

➢ 資料3 NISTEPの定点調査2021について

「NISTEP定点調査2021」の調査結果を内閣府CSTI有識者議員懇談会で説明しました。説明後、委員から、“定点調査の方についてですが、これは大変重要な調査だと思います。また、多くの項目で**実際の研究現場での問題意識が分かり、大変有用だ**と思いますし、**実際に私たちが日頃感じていることをよく言い表している**”というコメントがありました。

（出典URL）配布資料 <https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20220818/siryo3.pdf> 議事録 <https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20220818/giji.pdf>

□文部科学省 科学技術・学術審議会 **総会**

◆ 科学技術・学術審議会（第71回）令和5年12月22日（金曜日）

➢ 資料3 大学研究力強化に向けた取組について

p.6, 大学研究力強化にかかる議論について（大学研究力強化委員会における主な検討事項等について）

（抜粋）「研究大学強化促進事業」の事後評価で効果が実証された取組や、「創発的研究支援事業」における研究環境改善の好事例に加え、**「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2022)」における大学研究力に関わる回答の状況**や、「日本学術会議若手アカデミー」の提言等も踏まえ、**適切な研究マネジメント体制の構築や研究環境の持続的向上に向けた課題や方策等を議論。**”

➢ 参考資料5-4 大学の研究力に関するデータ-我が国の研究力強化に向けたエビデンス把握

（出典URL）科学技術・学術審議会（第71回）配布資料 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu0/shiryo/mext_00015.html

□文部科学省 科学技術・学術審議会 **学術分科会**

学術の振興に関する重要事項を調査審議する。

◆ 学術分科会（第92回）令和6年7月31日（水曜日）

➢ 【資料2-2】第7期科学技術・イノベーション基本計画に向けた学術分科会としての意見（案）

p.3, 今後の取組の方向性 ア) 活動の基盤となる使途自由な経費の充実

（抜粋）“基盤的経費については、近年は対前年度同額程度で推移しているが、**科学技術・学術政策研究所の調査においては、「基盤的経費の確保」については引き続き不十分という強い認識が示されているほか、円安や人件費・光熱費・物価の高騰により、基盤的経費は不足・実質的な削減傾向にあるという指摘もある。**研究の多様性・卓越性の確保のためには、競争的研究費を活用した研究のさらなる発展に繋げる明確な研究課題の設定に至る前の試行的な研究や探求が重要であり、政府においては、そうした活動を支える基盤的経費を十分に確保するべきである。”

➢ 【参考資料2】第7期科学技術・イノベーション基本計画に向けた論点 参考資料（令和6年7月31日時点版）

（出典URL）学術分科会（第92回）配付資料 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryo/1421896_00025.html

□文部科学省 科学技術・学術審議会 **大学研究力強化委員会**

大学等の研究力強化を図るため、国際卓越研究大学制度や地域中核・特色ある研究大学の振興など、多様な研究大学群の形成に関して、幅広い観点から調査検討を行う。

◆ 大学研究力強化委員会（第12回）令和5年6月28日（水曜日）

➢ 【資料2-2】科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2022):「大学研究力」に関連した調査結果

「NISTEP定点調査2022」における「大学研究力」に関連した調査結果を委員会で説明しました。説明後、各委員からは、“**自由記述の問題指摘は大変リアリティに富んでいる**”といったご発言や、今後の調査への期待等が述べられました。政策担当者からは、“**政策担当者としては宝の山のアンケートだ**”といった発言や本調査を具体的な“**事業の制度設計に生かしている**”旨の発言がありました。

（出典URL）科学技術・学術審議会 大学研究力強化委員会（第12回）配付資料 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu32/siryo/000017833_00012.html
科学技術・学術審議会 大学研究力強化委員会（第12回）議事録 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu32/gijiroku/000017833_00014.html

□文部科学省 科学技術・学術審議会 **人材委員会**

科学技術及び学術の振興を図るために必要な人材に関して、幅広い観点から調査検討を行う。

◆ 第11期人材委員会審議まとめ 令和5年1月23日

p.25, 意識調査結果「望ましい能力を持つ人材が、博士課程後期を目指しているか」等

（出典URL）第11期人材委員会審議まとめ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu10/toushin/mext_00001.html

□文部科学省 科学技術・学術審議会 **研究開発基盤部会**

科学技術を支える先端的研究施設・設備等の研究基盤の整備・高度化・利用や複数領域に横断的に活用可能な科学技術に関する重要事項について審議を行う。

◆ 先端研究設備・機器の共用推進に係る論点整理 令和6年7月24日

p.30-32, 研究設備・機器に関する研究者等の意識

（出典URL）先端研究設備・機器の共用推進に係る論点整理 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu28/houkoku/1418594_00004.html